

リテで開催中の世界の現代美術展「ベビエンナーレ」の今年は中国のアーティストが、全体の約五分三である二十人以上も作品を発表した。

ては共産主義の宣伝の手段として活用された中国の芸術主義アリズムの最も現代的な美の注目をしている。

でも若い芸術家たちさまざまな制約と闘い創意的な創作に取り



50歳の素顔

● ボーダーレスの光と影 ●

4 美の発信

制約と闘う

若い芸術家

組んでいた。

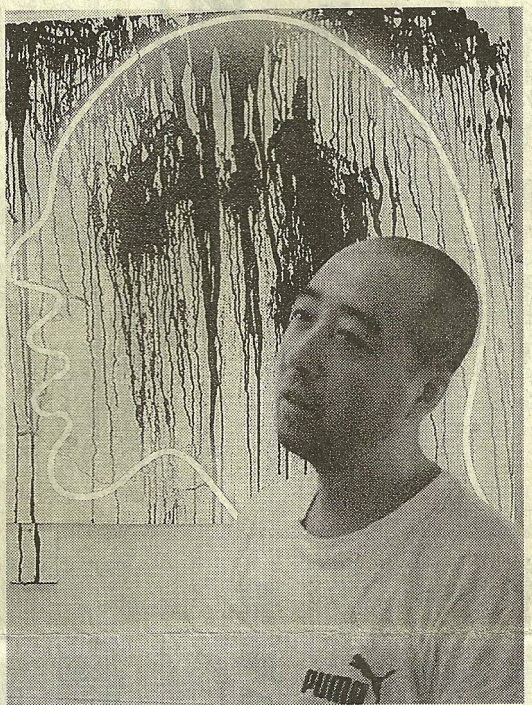
ビル建設ラッシュの北京。取り壊しを待つ古い壁や高架橋の橋脚に、一筆書きのような男の横顔が並んでいるのを見かけることが、現代アーティストの一人、張大力氏の「作品」だ。

「僕の自画像なんだ。似てくさう」。伝統建築が急速に失われアクリル（醜民との「対話」。最初は落書きと見ていた市民の反応にどんな変化が表れるのか。ビルと壁と男の横顔が

「確かに中国では芸術への規制や、発表の場の少なさに焦りを感じるけど、これも正面から政府批判をしてこ

「確かに中国では芸術への規制や、発表の場の少なさに焦りを感じるけど、これも正面から政府批判をしてこ

世界目指し 試行錯誤



北京市内の自宅で、自らの作品を前に芸術について語る張大力氏（共同）

らないと製作所が成り立ってゆかない」と北京映画製作所の史東明・副所長。同社は今年、月、長い国営の歴史を終え民間会社組織に機構改革したのだ。

前の作品は興行的には失敗だったという管虎監督（三）は「僕は個性を表現すると同時に、大衆にも受け入れられねばならない」という難題を抱えている」と言う。

を発表しても、パワーは持ち得ない」年代を中心に、第五世代と呼ばれる監督たちが「紅いコーリャン」「黄色い大地」といった芸術性の強い作品を次々に生み出し、世界に目を向けた。だが、内陸で

「今は政府からの内容の規制はほとんどないが、その代わり、売れる映画を作

● 中国の現代アート ●

奇抜で斬新（ざんしん）な表現の絵画やパフォーマンスに、体制批判や社会風刺を込める中国の現代アートは民主運動の進展と並行して広がりを見た。当局は治安への影響を恐れ、芸術家のたまり場の解散や美術展の禁止などで規制を加えたが、既に外国で高い評価を得たアーティストも数多い。（共同）

（共同）